

播磨神光寺と岩座神地区の文化遺産



多可町加美区岩座神地区の景観（多可町提供）

刊行にあたって

本書は、兵庫県多可郡多可町加美区の岩座神地区を中心とする文化遺産の調査報告である。岩座神地区は、すぐれた棚田の景観をもつことで有名であるが、その奥には名刹である神光寺があり、古くより霊峰千ヶ峰への信仰の場として存在してきた。山寺とその膝下の集落という観点から、改めてこの地域を見直すことは、山寺と地域社会の関係という普遍的なテーマにとっても有効なケーススタディーになると考える。

岩座神地区におけるフィールドワークは、2022年に実施した京都府立大学文学部歴史学科の授業「文化遺産学フィールド実習」を契機とする。学生たちが事前学習をおこなったうえで、8月に現地でフィールドワークをおこなっている。この時点では、岩座神区長の木原伸夫氏にお世話になり、公民館での聞き取り調査と文書調査、五霊神社での聞き取り調査と測量調査、石造物調査、棚田の石垣調査など、複数の分野にわたる調査を同時に進めることができ、文化遺産学を構成する諸分野の調査を学生が体験する場として活用させていただいた。このときの調査成果を基礎としつつ、それぞれの分野の教員が中心になって、その後に繰り返し現地を訪れ、調査を重ねてきた。核になると考えられる旧神光寺跡への踏査も2023年3月に実施している。こうして得られた成果をとりまとめ、一書として刊行することにした。

調査にあたっては、多可町教育委員会のご協力を得ることができ、とりわけ安平勝利氏にはたいへんお世話になった。改めてお礼申し上げたい。

編 者

例 言

- 本書は、兵庫県多可郡多可町加美区岩座神地区で2022年に実施した文化遺産学フィールド実習を契機におこなった文化遺産調査の報告書である。考古学、建築史学、歴史地理学、文化情報学（古文書学）の各分野が協働しておこなった調査の報告である。本書は、それぞれの分野の成果をとりまとめている。
- 本書は令和4年度～8年度科学研究補助金（基盤研究B）「古代後半期の山寺の総合的探索にもとづく仏教浸透過程の研究」（研究代表：菱田哲郎 京都府立大学文学部教授）の成果を含む。
- 本書にまとめた岩座神地区でのフィールド調査は、以下の教員が中心となって実施した。
 - （考古学調査） 菱田 哲郎 京都府立大学文学部教授
 - 諫早 直人 京都府立大学文学部准教授
 - （建造物調査） 岸 泰子 京都府立大学文学部准教授
 - （地理学調査） 上杉 和央 京都府立大学文学部准教授
 - （古文書調査） 東 昇 京都府立大学文学部教授
 - 井上 直樹 京都府立大学文学部准教授
 - （研究協力者） 安平 勝利 多可町教育委員会
- 本書のもとになった文化遺産学フィールド実習は以下の日程でおこなっている。
 - 2022年8月8日 多可町那珂ふれあい館での座学・古文書調査
 - 8月9日 多可町加美区岩座神地区におけるフィールド調査
 - 8月10日 多可町東山古墳群の調査・那珂ふれあい館でのワークショップこのうち3日目のワークショップは、安平氏のほかに多可町ふれあいボランティアの竹内宏企氏と宮崎和明氏にお世話になり、東山古墳群を中心とする文化財活用について議論ができた。その成果については、岡崎壯太・本田龍平・依田萌奈「地域の中の東山古墳群」『京都府立大学文学部歴史学科フィールド調査集報』第9号（2023年）に掲載している。
- 岩座神地区での聞き取り調査にあたっては、木原伸夫区長をはじめ、木原孝博氏、木原逸美氏、安田利雄氏（神社）、木原美雪氏、木原伸子氏、木原均氏（公民館）にインフォーマントとしてお世話になった。
- 岩座神地区での調査状況については、当日に取材にあたった多可町地域おこし協力隊の黒川直樹氏・橘大地氏により、ウェブ上で紹介されている。
https://raku-taka.com/article/isarigami_20220809/?fbclid=IwAR3SVaOzXSdfjkFknuON1VIIAERvZxJLkzFCNsWTet40My5hDwhw6MtyIUQ
- 本書の編集は菱田哲郎・岸泰子が担当し、上杉和央・東昇が補佐した。

編集後記

歴史学科2年次の学生を対象に「文化遺産学フィールド実習」の授業を設け、長年にわたって基礎的な調査を実践する場として活用してきた。これまで、数多くの市町でお世話になり、夏休みを中心にフィールドワークをおこない、そのそれぞれの取り組みについては、その後の調査などを経て、単発で報告などにとりまとめてきた。今回、兵庫県多可郡多可町で分野横断的な調査をおこなうことができ、また科研のテーマである山寺研究を裨益する研究成果がまとまったため、本書を編むことになった。多大なご援助をいただいたみなさまに改めて謝意を表したい。(ひ)

表紙・裏表紙写真

上左：五霊神社の調査風景（菱田哲郎撮影）

上中：旧神光寺跡の調査風景（菱田哲郎撮影）

上右：岩座神地区文書の調査風景（東昇撮影）

下：岩座神地区の棚田景観（安平勝利撮影）

裏表紙：神光寺仁王門と千ヶ峰（岸泰子撮影）



京都府立大学文化遺産叢書 第29集

播磨神光寺と岩座神地区の文化遺産

編集 菱田 哲郎（京都府立大学文学部教授）
岸 泰子（京都府立大学文学部准教授）
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5
発行日 2024年3月29日
印刷 株式会社 北斗プリント社
〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2